

# I・TOP横浜「未来の家プロジェクト」 第5回実証実験を開始します



快適な暮らしをサポートし、将来の社会課題への対応を目指すI・TOP横浜「未来の家プロジェクト」は、第5回実証実験を泉区和泉町で開始します。

第5回実証実験から新たに慶應義塾大学が参画し、「住宅に導入可能な非接触システムを用いた日常動作の検証」でご協力いただきます。

今回の実証実験では、新たな行動分析ツールを用いて分析を行い、収集したデータに基づき、将来的に家電等の自動制御や先回り制御などを目指します。また、居住者に応じた最適な就寝環境の制御を目指して、被験者の行動を踏まえた睡眠環境の抽出を新たに行います。

※本実験は、「相鉄いずみ野線沿線（次代のまちづくり）」※<sup>1</sup>推進の一環です。

## 1 実証実験の概要

### (1) 実証実験の内容

IoTスマートホーム※<sup>2</sup>にて1週間通常通りの生活をしてもらい、実験前後でのモニターの状態変化、意識変化、行動変容について評価・検証を行います。

### (2) 実験期間及び場所

期間：令和2年11月17日（火）～令和3年2月15日（月）

場所：横浜市泉区和泉町6207番10ほか（泉図書館横）

実験予定人数：9名（関係者：5名、公募：4名）



## 2 モニターの公募について

「未来の家プロジェクトWebサイト」にて4名のモニターの申し込みを受け付けます。

公募条件など詳細は下記をご覧ください。

URL) <https://mirainoie-project.jp/>

※ 公募モニターによる実験は1月頃からの予定です。

## 3 新規参画

### 「慶應義塾大学」

非接触型のセンサーを用いて居住者の動作を計測します。

また、各社のデバイスで取得したデータも踏まえて、居住者の動作分析を行います。



### お問合せ先

#### ● I・TOP横浜「未来の家プロジェクト」に関すること

経済局産業連携推進課 担当課長

石津 雄一郎

Tel 045-671-3591

#### ● 相鉄いずみ野線沿線における「次代のまちづくり」事業に関すること

建築局住宅再生課 課長

加藤 忠義

Tel 045-671-4543

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。

【裏面あり】

## その他、第5回実証実験での新規追加要素

### 1 行動推定・予測研究

IoT スマートホーム内の多種多様な IoT 機器のデータを用いて、宅内居住者の現在及び将来の行動を推定・予測することで、家電の自動制御や先回り制御などのスマートホームサービスの実現を目指します。

今回の実験では、秒単位で記録可能な行動記録ツールを用いて、被験者の行動と各種データや位置情報を分析することにより、行動推定・予測モデルの構築を行います。

### 2 睡眠解析研究

様々なデバイスを通じて室内外の IoT 機器から居住者の睡眠状況を認識し、居住者に応じた最適な寝室環境の実現を目指します。

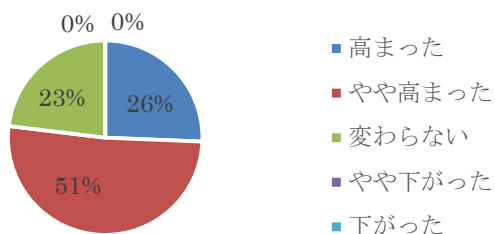
今回の実験では、参加企業各社のセンサーを用いて、就寝前行動も含め被験者の自然な状態におけるデータ収集を行い、熟睡できる環境の条件を抽出します。

### 【参考1】これまでの実験結果

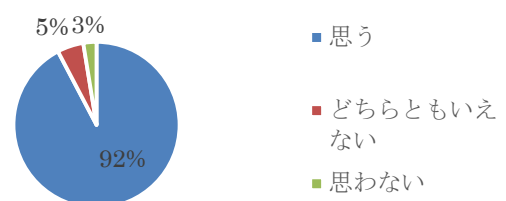
・前回の実証実験より、「運動」「食事」「行動」「睡眠」の4項目について、目標値と現状をグラフ化する「健康状態の可視化機能」を追加しました。アンケートでは「何が不足しているのか、何をすれば良いかが明らかになることで、健康への意識が高まった」との声を頂いています。

また、「食事のタイミングと睡眠(就寝)のタイミングは少し気を使うようになった」などの声を頂くなど健康に対する好意的な回答を多く頂いていることから、今回の実証実験より「睡眠」についてより深く研究を深めてまいります。

IoTスマートホームでの生活を通じて健康への意識は高まりましたか？



このような生活データは、ご自身がより健康になるうえで有用だと思いますか？



(これまで生活した 39 人の被験者アンケート集計結果)

## 【未来の家プロジェクトとは】

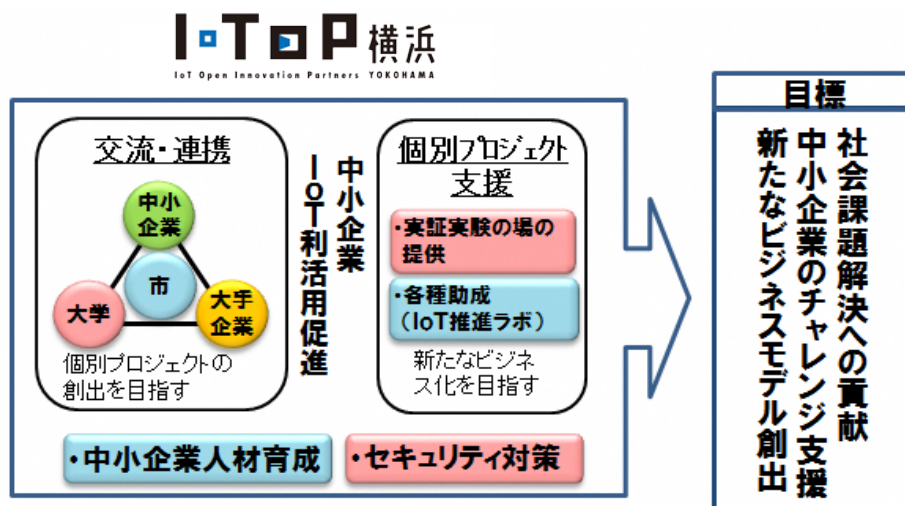
平成29年6月に発足した、住空間におけるIoTを活用して集積したデータを居住者にフィードバックし、快適で健康な暮らしをサポートし、将来の高齢者の独り暮らしや災害時の対応を目指す取り組みです。

未来の家プロジェクト		プロジェクトメンバーの紹介		IoT P 横浜
 <b>横浜市</b> City of Yokohama	企業へのプロジェクト参加呼びかけ、実証実験場所の調整		IoTスマートホーム <sup>®</sup> 、IoTアクセス制御エンジンの提供、データの管理・分析	
	UI,UX デザイン、IoTプロダクトの事業化、事業化に関するノウハウ提供		最新のスマートフォン及び本機種に搭載された健康機能の提供	
	実証実験への協力、地域コミュニティへの展開		床のセンサーで居住者の動作情報を収集できるIoT建材によるセンシング	
	食事解析システム・アドバイスの提供		環境測定装置の提供、室内外の空気質の計測、センサーの妥当性評価	
	デバイスで操作できるIoTシャッターの提供		見守りセンサーを設置し、お部屋にいる方の活動の有無や出入りをモニター	
	IoTスマートホームとつながり、新たなサービスを創出するインターホンの提供		窓まわりのIoT化に貢献する電動ブラインドを提供	
	香り制御装置「アロマシューター」の提供		IoTセンサーで香りを制御、睡眠など生活に適した香りを開発	
	睡眠などの健康状態を可視化・解析するデバイスの提供		デバイスから状態確認、及び操作ができるIoTスマートロックの提供	
	動きや生体情報を取得できるセンサー付ルームウェアの活用		IoTスマートホーム <sup>®</sup> における広告連携コミュニケーションサービスの開発を支援	
	非接触システムによる日常動作の計測および分析			

※未来の家プロジェクトウェブサイト（URL：<http://mirainoie-project.jp/>）

## 【I・TOP横浜（IoTオープンイノベーション・パートナーズ）とは】

横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組みから個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。



I・TOP横浜ウェブサイト  
URL : <http://itop.yokohama/>

IoT Acceleration  
Yokohama city Lab

### ※1 「相鉄いずみ野線沿線（次代のまちづくり）」とは

平成25年4月に横浜市と相鉄ホールディングス株式会社が「相鉄いずみ野線沿線における『次代のまちづくり』の推進に係る包括連携協定」を締結しました。地域の皆様、企業、NPO、大学などの様々な主体と連携しながら、沿線全体でのまちの魅力を高める取組を実施しています。



### ※2 IoT スマートホームは株式会社NTTドコモの登録商標です。